

令和3年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第11号(2月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和4年1月20日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	多い	平年並か少ない

○2月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
かんきつ	① ハダニ類	多	→	多	平年の発生量の推移(↗)
かんきつ	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移(↗)
ゴマ	① ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
キャベツ	① 菌核病	多	↗	多	平年の発生量の推移(↗)
	② コナガ	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
レタス	① 軟腐病	多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗)
	② 菌核病	(発生なし) 並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
かぼちゃ	① うどんこ病	(発生なし) 並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
施設野菜	① うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	② ミナミキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	③ タバココナジラミ	やや多	→	並	平年の発生量の推移(→)
	④ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)

○2月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
(ピ 施 設 マ ン)	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	③ タバココナジラミ	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移 (↘)
(施 設 マ ト)	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	② コナジラミ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
(年 未 出 荷 用 小 ギ ク)	① 黒斑・褐斑病	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
	② アザミウマ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
	③ アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
	④ カスミカメ類	やや多	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マン ゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。
	キクイムシ類	衰弱した枝、幹などから食入し、被害が進むと枯死させる。葉が黄化落葉したり、枝などから線香状の木くず（フラス）が見られたら、侵入部位まで枝を除去し、速やかに施設外に持ち出し処分する。また樹勢が低下することで本虫の加害を受けやすくなるので、樹勢維持に努める。

令和3年度 宮古群島 病害虫発生予報 第11号(2月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和4年1月20日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	多い	平年並か少ない

○2月の発生予報 (宮古群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移(→)
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
(施設用)	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値: 過去5~10年間の発生量の平均値
- 例年値: 過去3~4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫(宮古群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

令和3年度 八重山群島 病害虫発生予報 第11号(2月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和4年1月20日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	多い	平年並か少ない

○2月の発生予報 (八重山群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)	やや多	↓	やや多	芯枯茎率の平年の発生量の推移(↓)
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
かぼちゃ	① うどんこ病	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移(→)
	② 細菌病	やや多	↑	やや多	平年の発生量の推移(↑)
	③ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	⑤ ハモグリバエ類	やや多	↑	やや多	平年の発生量の推移(→)
施設野菜	① ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移(→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値: 過去5~10年間の発生量の平均値
- 例年値: 過去3~4年間の発生量の平均値

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫(八重山群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	キクイムシ類	衰弱した枝、幹などから食入し、被害が進むと枯死させる。葉が黄化落葉したり、枝などから線香状の木くず(フラス)が見られたら、侵入部位まで枝を除去し、速やかに施設外に持ち出し処分する。また樹勢が低下することで本虫の加害を受けやすくなるので、樹勢維持に努める。
かぼちゃ	モザイク病	モザイク病が多発生している。 媒介虫の密度が低くても感染力は高いので、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。 発病株は感染源となるので見つけ次第抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分する。 本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒、洗浄を行う。

向こう1か月の天候の見通し
沖縄地方（1月29日～2月28日）

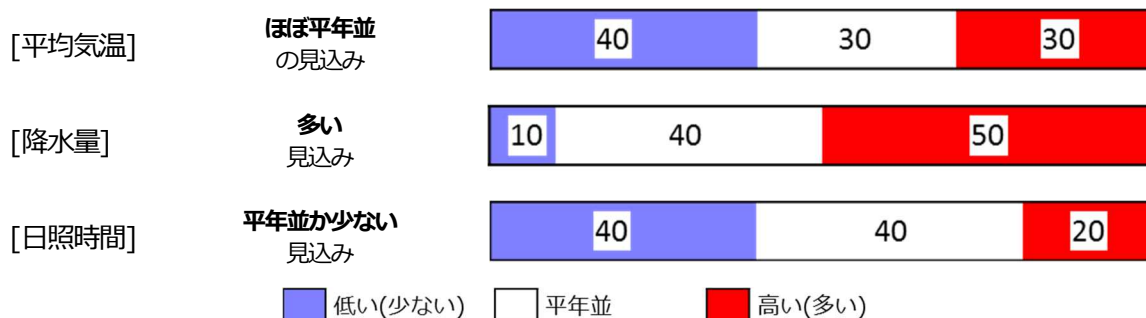
○ 気象予報のポイント

- 向こう1か月の天候は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
- 期間の前半を中心に低気圧や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

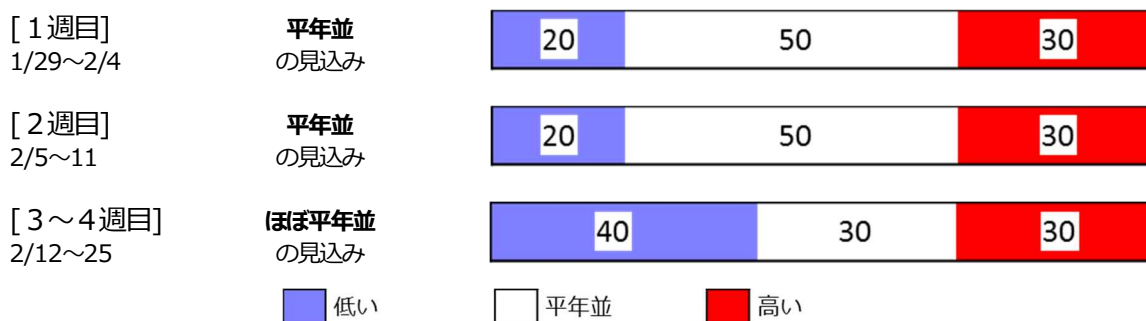


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.5～+0.4℃	平年比：78～115%	平年比：82～116%
那覇	16.8～17.8℃	68.8～122.4mm	76.3～103.1時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.7～+0.6℃	平年差：-0.6～+0.8℃	平年差：-0.5～+0.6℃
那覇	16.3～17.4℃	16.5～17.8℃	17.3～18.2℃

※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島の7地点平均値です。
 ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1991～2020年）の値から統計的に求めています。